

Economic Indicators

発表日: 2021年12月10日(金)

主要経済指標予定(2021年12月13日~12月17日)

(株)第一生命経済研究所 経済調査部
日本経済短期チーム (TEL: 03-5221-4525)

(12月13日~12月17日の主なイベント、指標予定)

	指標名	当社予測	市場予測	市場予測レンジ	前回結果
12月13日 (月)	8:50 11月日銀短観				
	業況判断DI・大企業製造業(最近)	17	19	12~20	18
	(先行き)	13	19	7~20	14
	大企業非製造業(最近)	5	5	2~10	2
	(先行き)	9	9	2~15	3
	中小企業製造業(最近)	▲4	▲3	▲7~2	▲3
	(先行き)	▲6	▲1	▲9~1	▲4
	中小企業非製造業(最近)	▲7	▲6	▲11~▲4	▲10
(先行き)	▲4	▲4	▲15~1	▲13	
8:50 10月機械受注統計	船電除く民需(前月比)	+3.2%	+1.8%	▲2.8%~+6.0%	▲0.0%
	(前年比)	+3.9%	+4.2%	▲1.4%~+12.2%	+12.5%
12月14日 (火)	8:50 11月短観業種別計数及び調査全容				
	13:30 10月鉱工業指数・確報				
	鉱工業生産指数(前月比)	—	—	—	+1.1%
	(前年比)	—	—	—	▲4.7%
稼働率指数(前月比)	—	—	—	▲7.3%	
生産能力指数(前年比)	—	—	—	▲1.1%	
12月15日 (水)	13:30 10月商業動態統計・確報				
	小売業販売額(前年比)	—	—	—	+0.9%
	13:30 10月第3次産業活動指数				
(前月比)	+1.8%	+1.2%	+0.2%~+2.3%	+0.5%	
(前年比)	▲0.8%	—	—	▲1.0%	
12月16日 (木)	8:50 11月貿易統計				
	輸出金額(前年比)	+23.0%	+21.2%	+15.6%~+24.7%	+9.4%
	輸入金額(前年比)	+40.3%	+40.0%	+31.0%~+46.2%	+26.7%
	貿易収支(原数値、億円)	▲6,003	▲5,952	▲9,111~▲680	▲685
金融政策決定会合(~17日)					
12月17日 (金)	14:00 10月建設総合統計				
	日銀総裁定例記者会見				

日銀短観 11月調査 業況判断DI・大企業製造業（最近） 当社予想：17 中央値：19

次回の日銀短観は、大企業・製造業の業況判断DIが前回比▲1ポイントの悪化となる予想である。これで改善の流れは止まった格好になる。コロナ収束の機運を受けて、非製造業の方は、前回比+3ポイントの改善となる見通しだ。しかし、オミクロン株の影響がほとんど織り込まれていない点は、割り引いて考えた方がよい。今回は、仕入コスト上昇、非製造業の売上計画、人手不足感の3つが注目点になりそうだ。

（首席エコノミスト：熊野 英生）

10月機械受注・船舶電力除く民需 当社予想：前月比 +3.2% 中央値：同 +1.8%

10月の機械受注（船舶電力除く民需）は、前月比+3.2%を予想する。製造業については供給制約等の要因により増加ペースの鈍化が予想される一方、非製造業については感染状況の改善や緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の全面解除を受けて設備投資意欲が改善することが見込まれる。先行きについては、感染状況の改善を背景とした非製造業の業績回復により、これまで遅れていた非製造業の設備投資の回復が予想される。

（主任エコノミスト：小池 理人）

10月第3次産業活動指数 当社予想：前月比 +1.8% 中央値：同 +1.2%

10月の第3次産業活動指数は、前月比+1.8%の上昇を予想する。10月は緊急事態宣言が一斉解除されたことに加えて、月中の感染動向も落ち着いていたことから、外食関連を中心に前月比で高い伸びが見込まれる。先行きは、11月以降も新規感染者数が減少した状況が続いているため、生活関連サービスや小売業等が牽引して上昇が続くだろう。

（副主任エコノミスト：大柴 千智）

11月貿易統計・貿易収支額（原数値） 当社予想：▲6,003億円 中央値：▲5,952億円

11月の貿易収支は▲6,003億の赤字（原数値）を予想する。輸出は、自動車減産の影響が緩和し、輸出が持ち直したことにより前年比で伸びを高めるだろう。もっとも、原油価格高騰を反映して、輸入が前年比で高い伸びが続くことで、貿易収支は赤字となるだろう。先行きについては、国内外における感染動向に不透明感が強いものの、当面は輸出が持ち直すことで、貿易収支は赤字幅を縮小させるだろう。

（副主任エコノミスト：大柴 千智）

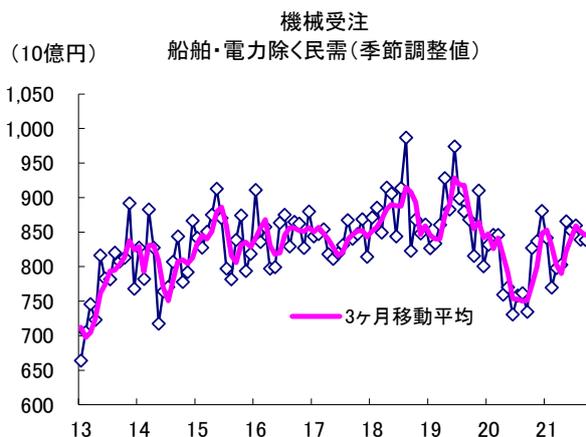
図表1

(図表1) 日銀短観(2021年12月調査)の予測値

		業況判断DI			
		大企業		中小企業	
		製造業	非製造業	製造業	非製造業
2019年	3月調査	12	21	6	12
	6月調査	7	23	-1	10
	9月調査	5	21	-4	10
	12月調査	0	20	-9	7
2020年	3月調査	-8	8	-15	-1
	6月調査	-34	-17	-45	-26
	9月調査	-27	-12	-44	-22
	12月調査	-10	-5	-27	-12
2021年	3月調査	5	-1	-13	-11
	6月調査	14	1	-7	-9
	9月調査	18	2	-3	-10
見通し	12月調査	17	5	-4	-7
	先行き	13	9	-6	-4

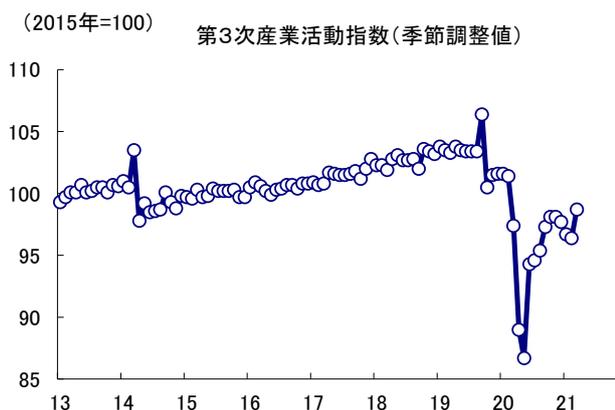
注:実績は日本銀行「短期経済観測調査」。見通しは第一生命経済研究所。

図表2



(出所)内閣府「機械受注統計」

図表3



(出所)経済産業省「第3次産業活動指数」

図表4



(出所)日本銀行「実質輸出入」

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。